

# 2015年12月期 第3四半期決算説明資料



2015年11月9日(月)  
株式会社ワールドホールディングス  
東証JASDAQ (2429)



# 2015年の重点施策と取組状況

## 人材・教育ビジネス

共通施策

採用への集中投資

ファクトリー事業

物流分野の拡大

契約条件等の適正化

新たな雇用枠の創出

テクノ事業

事業領域の拡大

人材育成

リペア部門への投資拡大

R&D事業

企業治験の受注拡大

PV事業の拡大

臨床研究の受注拡大

セールス&  
マーケティング事業

事業領域の拡大

登録人材の最大活用

分散した取引の内部拡大

## 不動産ビジネス

ポートフォリオの更なる分散

近畿圏第1号物件販売開始

全国展開

## 情報通信ビジネス

他社との差別化

携帯販売依存からの脱却

携帯販売台数の増加



I .2015年12月期 第3四半期決算概要

II .2015年12月期 業績予想

# I . 2015年12月期 第3四半期決算概要



# 第3四半期サマリー



- 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益全て、過去最高を更新
- 営業利益、経常利益、四半期純利益は2015年3Qで2015年通期予算を上回る
- 四半期開示後、売上高、営業利益ともに6期連続増収増益

単位：百万円、%

	2014/3Q 実績	2015/3Q 実績	前年同期比		2015年 通期予想※	通期予想に対 する進捗率
			増減額	増減率		
売上高	49,815	<b>69,736</b>	19,920	40.0	87,752	79.5
営業利益	2,627	<b>4,943</b>	2,315	88.1	4,700	105.2
経常利益	2,595	<b>4,912</b>	2,316	89.3	4,624	106.2
四半期純利益	1,202	<b>3,556</b>	2,353	195.7	3,445	103.2

※2015年5月7日発表

# セグメント別売上高



## ● 人材・教育ビジネスと不動産ビジネスが大幅な増収・増益

単位: 百万円、%			2014/3Q 実績	2015/3Q 実績	前年同期比		2015年 通期予想※	通期予想に 対する 進捗率
					増減額	増減率		
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	18,217	19,860	1,643	9.0	28,597	69.4
		セグメント利益	1,432	1,324	△107	△ 7.5	2,196	60.3
		利益率	7.9%	6.7%	—	—	7.7%	—
	テクノ事業	売上高	6,282	7,075	793	12.6	9,260	76.4
		セグメント利益	494	775	280	56.6	769	100.7
		利益率	7.9%	11.0%	—	—	8.3%	—
	R & D 事業	売上高	2,945	3,442	496	16.9	4,850	71.0
		セグメント利益	52	362	309	591.4	447	80.9
		利益率	1.8%	10.5%	—	—	9.2%	—
	セールス&マーケティング	売上高	1,898	2,762	863	45.5	4,100	67.4
セグメント利益		38	153	114	296.7	169	90.8	
利益率		2.0%	5.5%	—	—	4.1%	—	
その他の事業	売上高	444	344	△99	△ 22.3	636	54.2	
	セグメント利益	21	12	△8	△ 41.8	18	65.9	
	利益率	4.7%	3.5%	—	—	2.9%	—	
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	10,291	27,535	17,244	167.6	29,321	93.9
		セグメント利益	1,146	3,412	2,265	197.7	2,557	133.5
		利益率	11.1%	12.4%	—	—	8.7%	—
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	9,736	8,714	△1,021	△ 10.5	10,987	79.3
		セグメント利益	247	△47	△294	△ 119.0	2	—
		利益率	2.5%	—	—	—	—	—
合 計		売上高	49,815	69,736	19,920	40.0	87,752	79.5
		消去又は全社	△805	△1,049	△244	30.3	△1,459	—
		営業利益	2,627	4,943	2,315	88.1	4,700	105.2
		営業利益率	5.3%	7.1%	—	—	5.4%	—

※2015年5月7日発表

# ファクトリー事業

## <分野別売上高・構成比と在籍数>

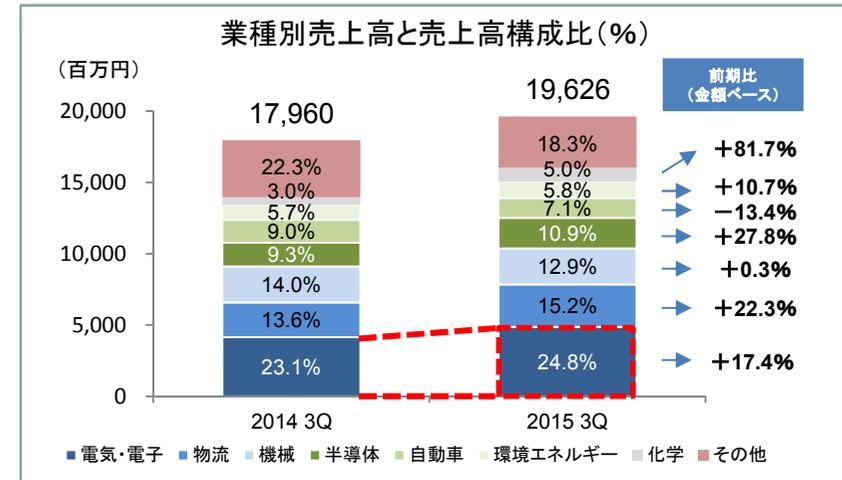
- トップ企業であるブランド力によって様々な企業から多様なニーズを受け好調に推移
- 電気・電子分野や半導体がスマートフォン・カーエレクトロニクス関連の好調を受け引き続き拡大

### ファクトリー

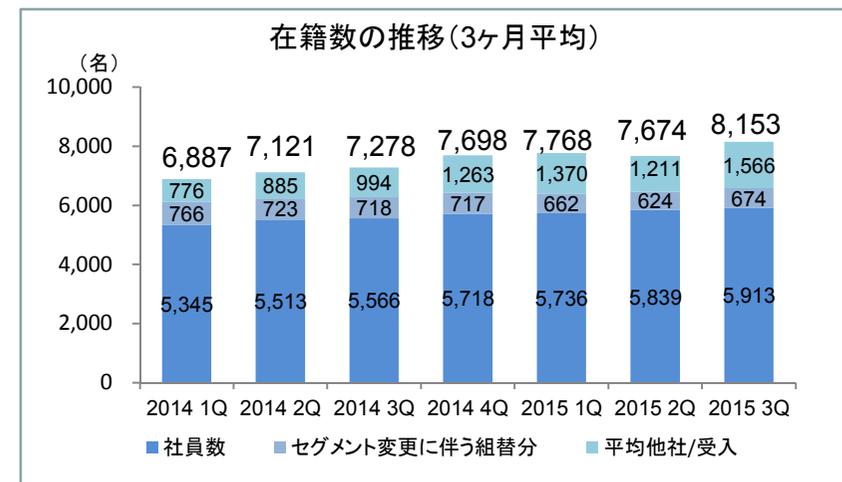
- ・顧客状況……順調に拡大中(前年同期比15.7%増)
- ・バックオーダー・1,000名以上
- ・請負比率…… 50%超で拡大中(前年同期比9.3%増)
- ・採用状況…… 純増はしているが充足には届いていない  
『JOB PAPER』(<http://www.jobpaper.net/>)による登録者数は順調に増加

### 物流部門

- ・顧客状況……2年間のノウハウの積み上げと実績から、大型案件の受注獲得  
OCS部門との連携により新たな採用枠の拡大



※グラフは台湾を除く国内売上高



※在籍数は3か月平均 他社受入の外部人員を含む  
※在籍数は現業社員のみ

# テクノ事業

## <分野別売上高・構成比と在籍数>

- 設計開発エンジニアは、情報通信・電気電子・自動車分野が拡大
- 生産技術エンジニアは、半導体分野が大きく伸長

### 設計開発

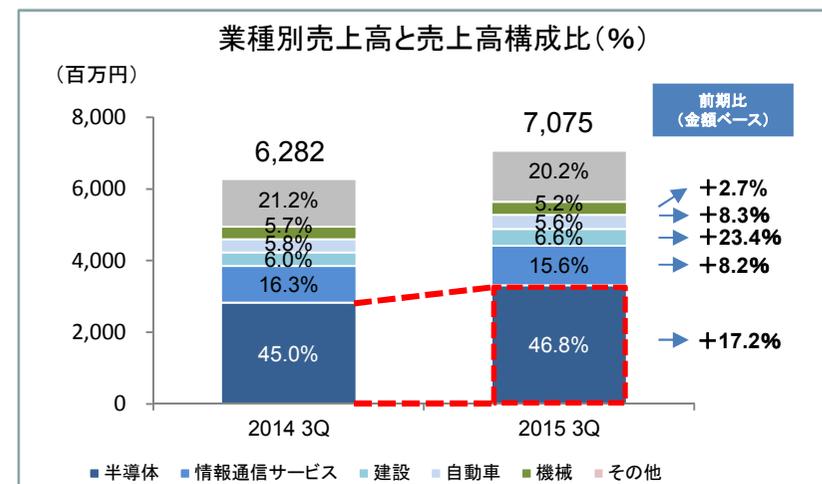
- ・顧客状況……交渉による好条件取引先が拡大(原価改善)
- ・採用状況……第2新卒採用実施、チーム派遣による人材育成

### 生産技術

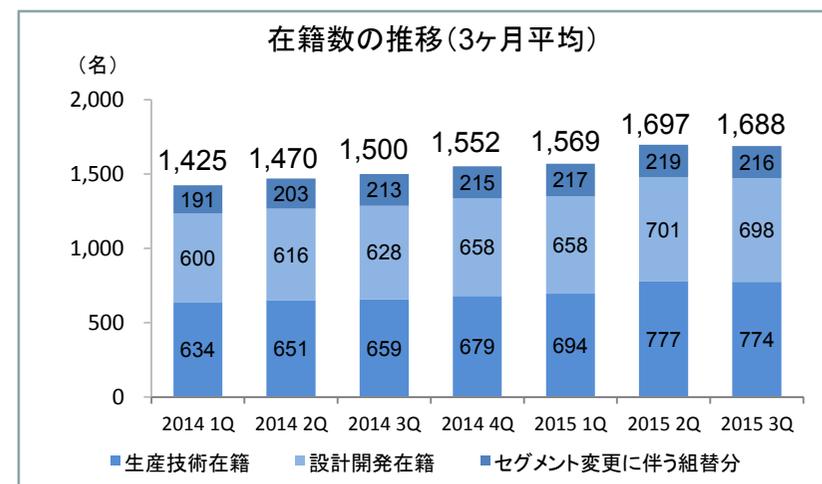
- ・顧客状況……ファクトリーと連携し半導体を中心に拡大
- ・採用状況……順調に増加(前年同期比+115名)

### リペア部門

- ・顧客状況……白物・黒物家電修理の繁忙期で売上堅調
- ・対応分野拡大……物流部門と連携し新規顧客獲得に向けスキルアップ研修等の先行投資を実施



※グラフはセグメント変更を過去に遡り修正



※在籍は3か月平均  
 ※在籍数は現業社員のみの数字

# R&D事業

## <分野別売上高・構成比と在籍数>

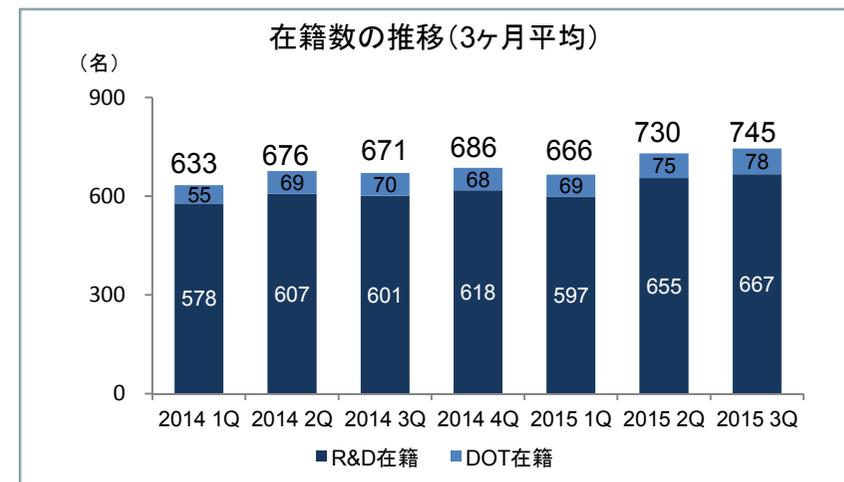
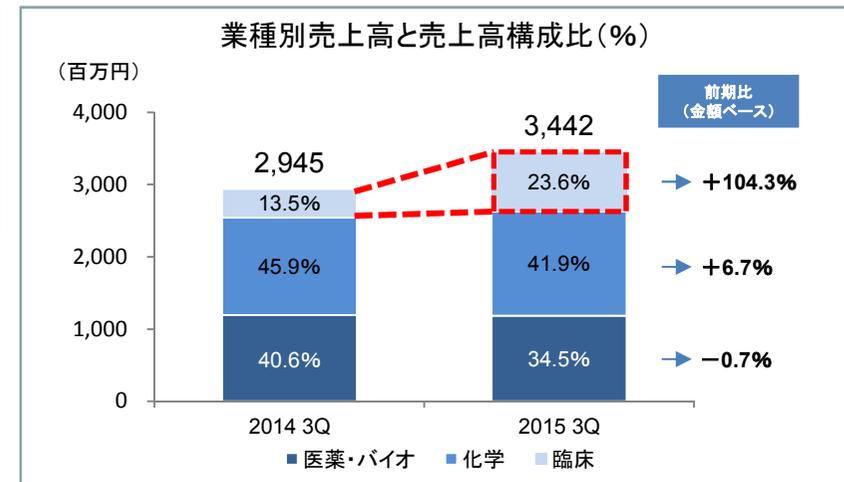
- 第2新卒の採用実施、化学系・医薬系の需要増を受けキャリア採用拡大
- DOTインターナショナルでは、製薬会社からの大型企業治験を受注

### R&D

- ・顧客状況……化学系好調に伴い売上拡大  
PV※についても連携による取引先拡大
- ・採用状況……採用手法を広範囲で多角的に見直し採用を強化  
第2新卒(9月入社)実施で採用数増  
(前年同期比600%増)  
新卒採用の大幅拡大(前年同期比160%増)

### DOT

- ・顧客状況……大型企業治験を期初より獲得  
臨床研究案件は増加傾向  
(取引件数は昨年の約20倍)
- ・採用状況……キャリア増員や病院同行やサポート要員活用などのOJTによる人材育成を実施



・在籍は3か月平均、在籍数は現業社員のみの数字  
 ※PV=Pharmacovigilanceの略(医薬品安全性監視)  
 医薬品の副作用などの安全性情報を的確かつ迅速に収集・分析する業務

# セールス & マーケティング事業

## <分野別売上高・構成比と在籍数>

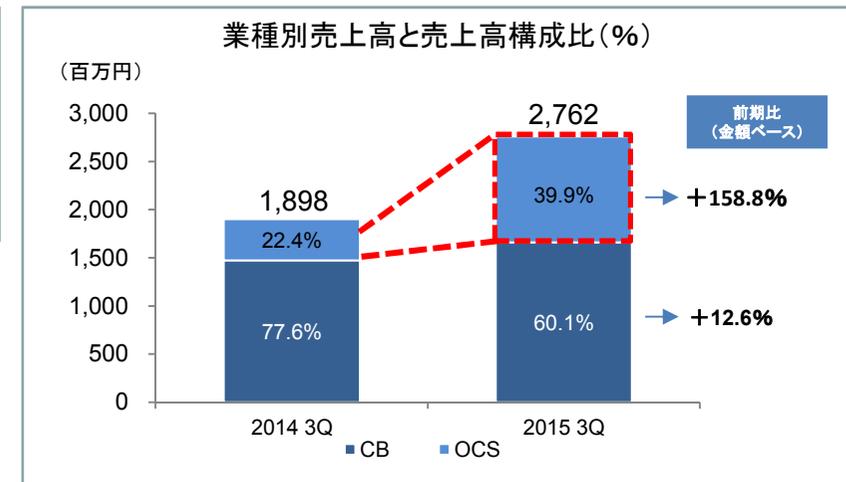
- CB(販売員派遣)事業: 戦略的な取引先の拡大と指標管理により大幅な利益改善
- OCS(コールセンター等のオペレーター派遣)事業: 大型案件獲得で順調に拡大

### CB

- ・顧客状況・・百貨店直契約や量販店等にも領域拡大
- ・採用状況・・顧客の変化に伴い採用枠も拡大傾向

### OCS

- ・顧客状況・・順調に拡大中(取引件数は前年同期比44.5%増)
- ・採用状況・・登録数、採用数ともに順調に推移
- ・体制整備・・大型案件に対応できるプロパーの増員、育成推進中



※在籍は3か月平均  
 ※在籍数は現業社員のみの数字

# 不動産ビジネス①

## ＜業態別売上高・構成比と供給・未引渡戸数状況＞

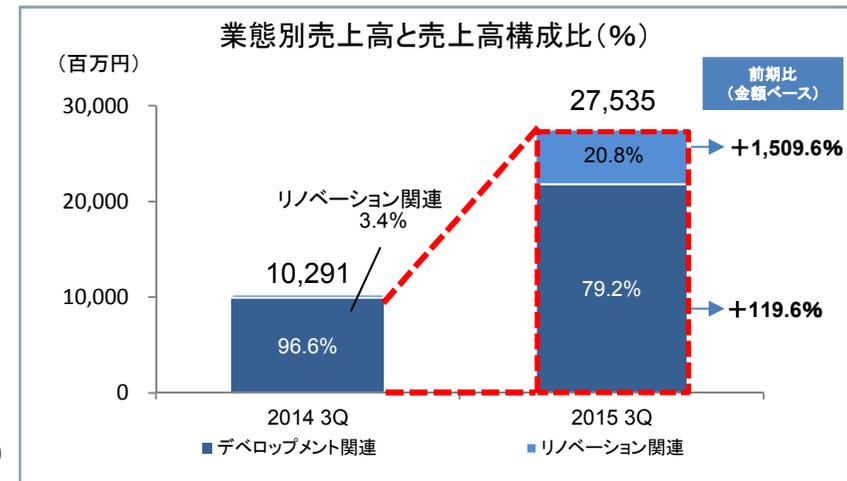
- 近畿圏での初物件が引渡開始
- 大手不動産デベロッパーとの共同事業「ブランズ横濱馬車道レジデンシャル」がグッドデザイン賞受賞
- M&Aによるユニットハウス事業、レンタル事業への参入

### 活動状況

- ・仕入れ: 17物件 (首都圏12物件、東北圏4物件、近畿圏1物件)
- ・供給: 129戸 (首都圏52戸、東北圏44戸、近畿圏33戸)
- ・引渡: マンション 300.4戸 (首都圏104.4戸、東北圏184戸、近畿圏12戸)

区画分譲	1区画	(首都圏1区画)
仲介	17件	(首都圏7件、東北圏10件)
土地	7件	(首都圏7件)

### 【仕入れの強み】



※リノベーションは、みくに産業(株)子会社化に伴い、2014 4Qより新設



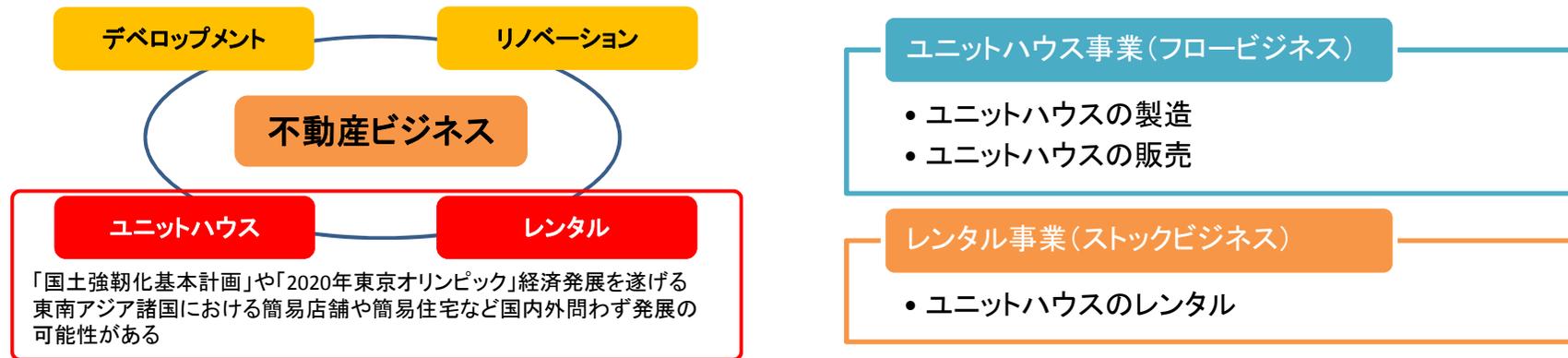
※供給は販売開始時点で計上、未引渡し戸数は契約済みも含むJV案件については、按分した戸数で数値作成

# 不動産ビジネス②

## 株式会社大町および株式会社ユニテックスの株式取得

不動産ビジネスの事業領域の拡大を目的とした「レンタルビジネス」への参入を図るべく、ユニットハウス事業で27年の実績のある製造販売の株式会社大町およびレンタルを行っている株式会社ユニテックスの株式を取得  
「オリンピック需要」に代表されるインフラ関連の需要増大に取り組めます

### 《事業領域の拡大》



#### ●株式会社大町の概要

事業内容	ユニットハウスの製造、販売
設立	平成20年11月4日 (ユニットハウス事業の開始は昭和63年8月)

#### 自社製品

設置時にサイズを2倍、3倍に拡大できるユニットハウスであり、設置の容易な折り畳み方法を採用。同様の折り畳み方法を採用している競合他社は存在しないことから輸送コスト面でも競争優位性がある。



#### ●株式会社ユニテックスの概要

事業内容	ユニットハウスのレンタル、中古ユニットハウスの販売
設立	平成13年8月29日

# 情報通信ビジネス

## <売上高と店舗数推移>

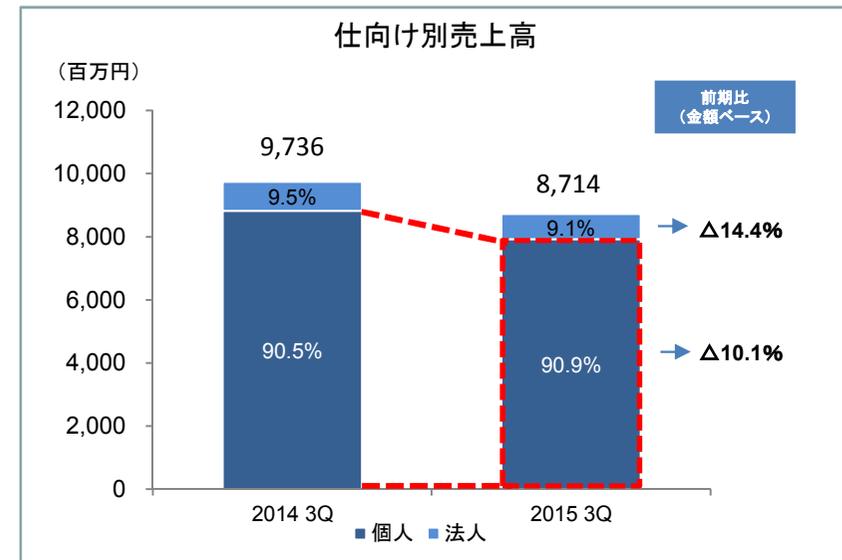
- 業界再編の動きが高まる中、店舗の戦略的なスクラップ&ビルドを行い、今後の拡大準備を推進
- オリジナルショップ「ケータイの窓口」による、新たなニーズの掘り起こしを推進

### 個人向け

- ・携帯ショップ・・・スクラップ&ビルド強化  
計画的な不採算店舗の閉鎖を実行
- ・新たなビジネスモデルの構築【ケータイの窓口】
  - ・携帯活用方法の情報提供
  - ・中古携帯の買取・販売
  - ・MVNO※販売検討開始

### 法人向け

- ・LED、OA機器等法人向け事業強化  
LED販売本数は前年同期比364%増
- ・市場環境・・・蛍光灯・白熱灯は2017年に製造終了  
今後は照明器具のすべてがLEDとなる

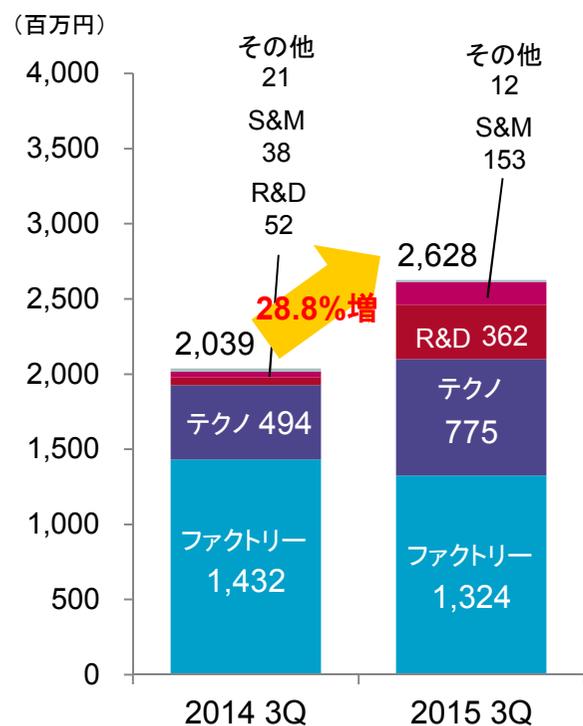


※MVNO=Mobile Virtual Network Operatorの略  
他の事業者から移動回線を借り、自社ブランドとしてサービスを提供する事業者

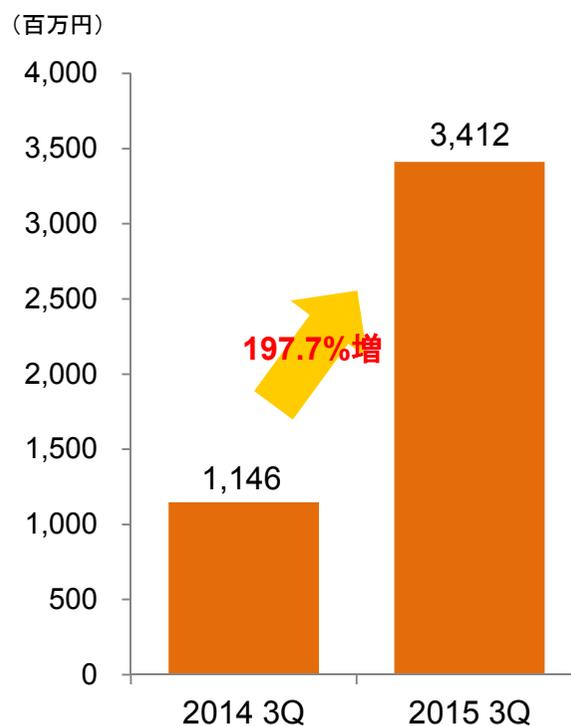


# セグメント別業績(営業利益)

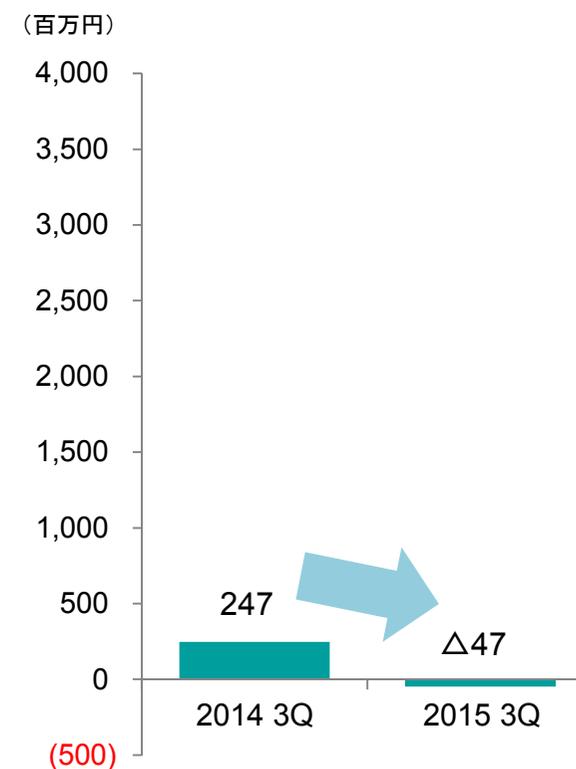
### 人材・教育ビジネス



### 不動産ビジネス



### 情報通信ビジネス



百万円未満切り捨て  
S&M: セールス&マーケティング

# 財政状態 B/S



● 総資産は、主に販売用不動産の取得(3,016百万円増加)に伴い、3,258百万円増加

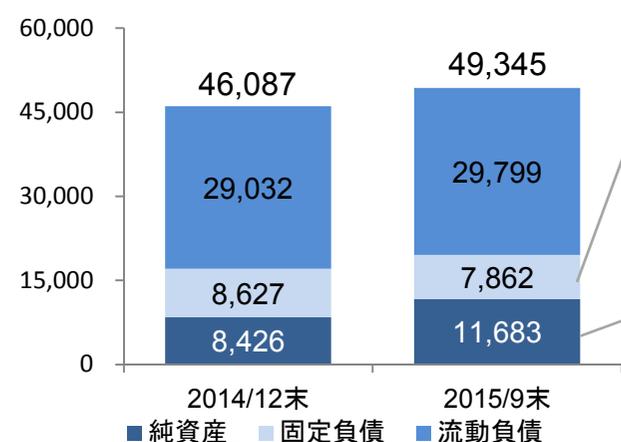
(百万円) 資産合計



**流動資産** 43,948(+2,342)

- ・販売用不動産の増加額 3,016百万円

(百万円) 負債純資産合計



**負債** 37,662(+1)

- ・販売用不動産の購入資金として調達した短期借入金の増加額 4,320百万円
- ・不動産事業未払金の減少額  $\Delta 1,412$ 百万円
- ・販売用不動産の購入資金として調達した長期借入金の減少額  $\Delta 952$ 百万円

**純資産** 11,683(+3,256)

- ・利益剰余金の増加額 3,162百万円



## Ⅱ. 2015年12月期 業績予想

# 2015年12月期 通期業績予想サマリー



- 営業利益・経常利益ともに当初予想を大幅に上回る
- 売上高、各利益ともに過去最高となる見込み

	2014/12 実績	2015/12 予想※	対前期比	
			増減額	増減率
単位:百万円、%				
売上高	68,829	<b>87,752</b>	18,922	27.5
営業利益	3,748	<b>4,700</b>	951	25.4
経常利益	3,722	<b>4,624</b>	901	24.2
当期純利益	1,992	<b>3,445</b>	1,453	73.0
一株当たり利益(円)	118.5	206.21	87.7	-
一株当たり配当金(円)	23.7	41.3	17.6	-

※2015年5月7日発表

# セグメント別 通期業績予想

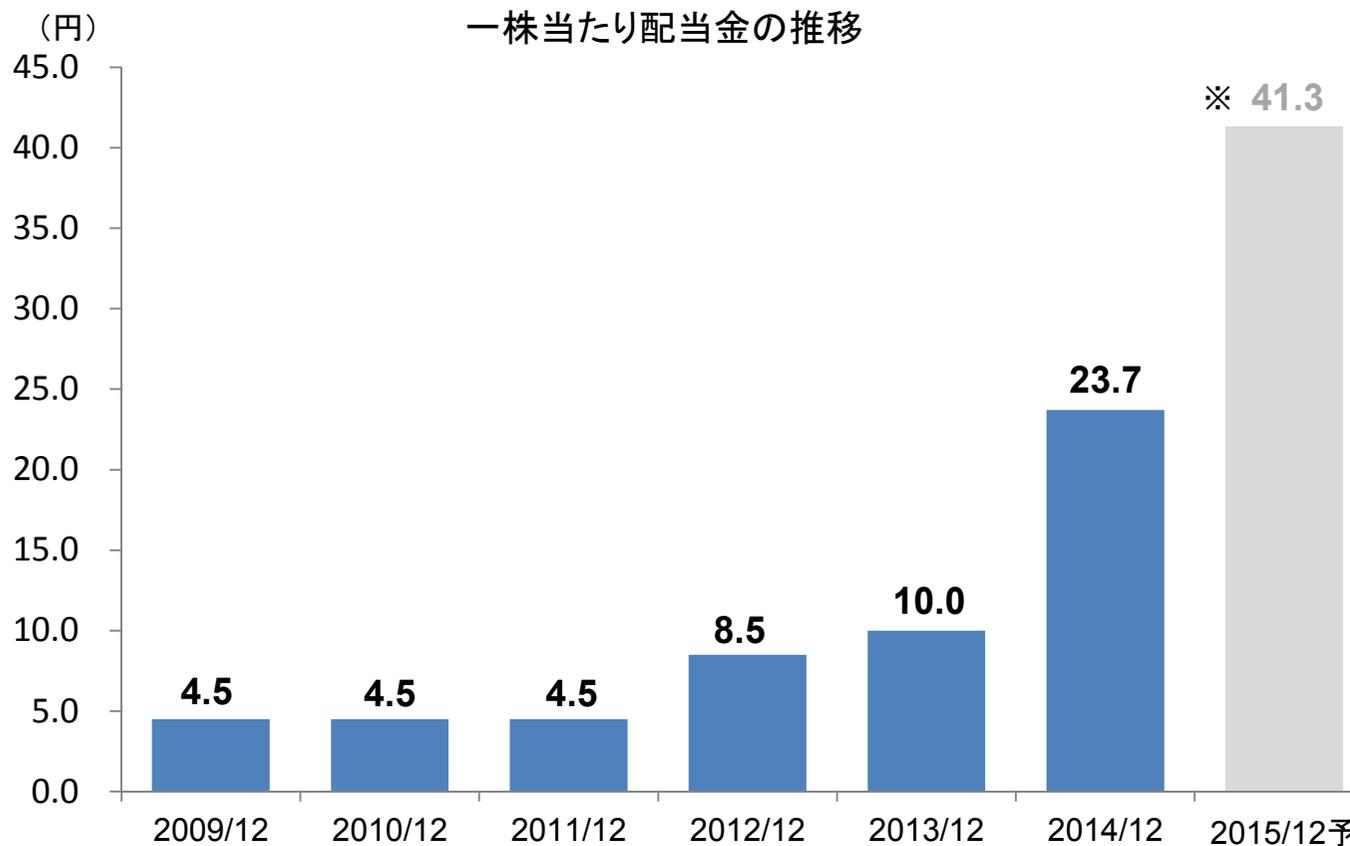


単位:百万円、%			2014/12 実績	2015/12 予想※	前期比	
					増減額	増減率
人材・教育 ビジネス	ファクトリー事業	売上高	24,928	28,597	3,668	14.7
		セグメント利益	1,918	2,196	277	14.5
		利益率	7.7%	7.7%	—	—
	テクノ事業	売上高	8,430	9,260	830	9.8
		セグメント利益	699	769	70	10.1
		利益率	8.3%	8.3%	—	—
R & D 事業	売上高	4,062	4,850	787	19.4	
	セグメント利益	159	447	287	179.9	
	利益率	3.9%	9.2%	—	—	
セールス&マーケティング 事業	売上高	2,679	4,100	1,420	53.0	
	セグメント利益	72	169	96	131.6	
	利益率	2.7%	4.1%	—	—	
その他	売上高	574	636	61	10.7	
	セグメント利益	18	18	0	2.8	
	利益率	3.2%	2.9%	—	—	
不動産 ビジネス	不動産事業	売上高	15,545	29,321	13,775	88.6
セグメント利益		1,869	2,557	687	36.8	
利益率		12.0%	8.7%	—	—	
情報通信 ビジネス	情報通信事業	売上高	12,608	10,987	△1,621	△ 12.9
セグメント利益		172	2	△170	△ 98.8	
利益率		1.4%	0.0%	—	—	
合 計	売上高	68,829	87,752	18,922	27.5	
	消去又は全社	△1,162	△1,459	—	—	
	営業利益	3,748	4,700	951	25.4	
	営業利益率	5.4%	5.4%	—	—	

※2015年5月7日発表



## 利益成長に応じた増配を継続



※2015年5月7日発表

※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



株式会社ワールドホールディングス

経営管理本部 広報IR室 津田 由佳理

TEL 03-3433-6005

E-MAIL [irinfo@world-hd.co.jp](mailto:irinfo@world-hd.co.jp)

URL <http://www.world-hd.co.jp/>

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。  
万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。